令和6年度 第2回学校運営協議会 会議録（要点記録）

令和6年9月20日

- 1 開催日時 令和6年9月20日（金） 午後1時50分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 浜松市立江南中学校 会議室
- 3 出席委員 池田 澄子、井村 元子、小沢 和男、塚越 勲、
中西 正武、伊藤 綾、鈴木 尊子
- 4 欠席委員 鈴木 美佐男、稲鶴 久美子
- 5 オブザーバー 吉田 久記（五島協働センター）
- 6 学 校 横原 昇司（校長）、小林 貴道（教頭）、小枝 善憲（教務主任）
川上 恭子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本 美世絵（地域連携グループ）、
伊藤 稚佳子（企画グループ）、村松 勇佑（同）、村岡 浩輔（同）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 川上 恭子
- 10 議長の選出 池田会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 今後の部活動の在り方について
- (2) 特色ある学校、魅力ある学校にするには
- (3) 学校評価アンケート（前期）について

12 会議記録

司会の小林から、委員総数9人のうち7人の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 今後の部活動の在り方について

校長より資料に基づき説明。江南中学区では、吹奏楽部については地域クラブが立ち上がる
と確認している。いくつかの学区で合体して地域クラブが立ち上がるかもしれない。

平日は教職員主導の部活動、休日は地域主体となるのは全国的な流れである。

地域からの指導者で生活指導までできるのか。（池田会長）

市教委で掌握している指導員は約40名。まだまだ足りない。（校長）

平日と土日を切り離すのは、土日は子供たちを地域や家庭に返そう、また教員の働き方改革の
一環でもある。時代の流れが変わった。地域クラブの難しさは重々感じている。（校長）

「学校体育」「社会体育」が今もあるのだから、土日活動したいのであれば、親御さんの送迎で
「社会体育」に行けばいいわけで、学校がそこまで苦悩しなくてもいいのではないかと。塾なら
お金を出している親御さんもいるのだから、スポーツに関しても同じように考えたらよいの
ではないか。（塚越委員）

中体連の大会でもクラブチームとして出場しているところもある。（校長）

教員によっては部活動をやりたい人もいないのではないかと。（中西委員）

(2) 特色ある学校、魅力ある学校にするには

資料に基づき校長より説明。学区内の小学校からの入学率が60%未満と危機感を感じている。クラス対抗をやりたい、クラス替えをして気持ちの切り替えをさせたいとする上でも、学年に2クラスは必要である。

—校長の考える5つの点について

週1部活動は背負うものがなくて楽しめるよい取り組みではないか。(井村委員)

「○○部があるから□□中を選択する」という声はよく聞く。(伊藤委員)

校長先生が特色を出そうとしている、それを後押しするのが地域だと考える。(中西委員)

山間校と交流して、お互いに体育館に段ボールベッドを作って宿泊するなどしてはどうか。(塚本委員・伊藤委員)

防災教育(炊き出し)については、自治会は喜んで協力する。(塚越委員)

できることからやってみましょう。(池田会長)

(3) 学校評価アンケート(前期)について

教務主任より資料に基づき説明。